

○委員長（遠山 俊一）

- ・ 開会宣告
  - ・ 議題の確認
- 

1 調査事件

(1) 学校給食における異物混入事故について

○委員長（遠山 俊一）

- ・ 議題宣告
- ・ 本件については、昨日9月11日付けで資料が配付されているため、説明を受けるため理事者の出席を求めたいと思うが、いかがか。（異議なし）
- ・ 発生後、間もないことから、今回事実関係の確認にとどめたいと思うので了承願う。
- ・ 理事者の出席を求める。

（教育委員会 入室）

○委員長（遠山 俊一）

- ・ 資料について説明をお願いします。

○教育委員会学校教育部長（木村 雅彦）

- ・ 資料説明：学校給食における異物混入事故について  
（平成29年9月11日付 教育委員会学校教育部調製）

○委員長（遠山 俊一）

- ・ ただいまの説明も含め、本件について各委員から何か発言あるか。（なし）
- ・ 理事者は退室願う。

（教育委員会 退室）

- ・ 議題終結宣告
- 

1 調査事件

(2) 公共施設等の管理について

○委員長（遠山 俊一）

- ・ 議題宣告
- ・ 本件については、前回の委員協議会において、当市の将来的な財政負担を軽減するため、どういった手法を用いて公共施設等を維持管理していくことが効果的なのか、また、その中でも官民連携手法について利点や課題などを整理した上で、調査を進めていくことを確認していた。本日の調査だが、正副で資料を調製しているので、資料に沿って進めたいと思うがいかがか。（異議なし）
- ・ 資料の説明に入りたいと思う。
- ・ 当市では、1現状に記載のとおり、公共施設等について直営、業務委託、指定管理者制度で維持管理しており、企業局において一部包括的民間委託を採用している。包括的民間委託については後ほど簡単に説明する。次に2課題だが、施設を所管している部局で個別計画等を策定し、長寿命化や統廃

合に取り組んではいるが、当市の保有施設をそのまま維持管理していく場合、維持管理経費や更新経費等に多大な財政負担を伴うことになる。そこで、今後の財政負担を軽減させるための手法について、3官民連携手法に記載のとおり、従来より行っている業務委託、また平成27年度当委員会所管事務調査事件で効果的な手法について調査研究を行った、指定管理者制度。加えて、当市の南部下水終末処理場等で既に導入されている包括的民間委託という手法が考えられる。包括的民間委託とは民間の創意工夫やノウハウを活かし、複数の業務または複数の施設にまたがる業務を包括的に委託するという手法だ。この手法は下水道分野では国の指針などもあり、当市をはじめ他都市においても導入が進んでいるが、公共施設等の維持管理において今後導入が進んでいくものと思われることから、正副として、包括的民間委託を用いた公共施設等の管理手法を視点として調査を行ってはどうかと考えるが、各委員いかがか。(異議なし)

- ・ 包括的民間委託に関して、正副で資料を調製しているので、事務局に配付させる。  
(事務局 資料配付)
- ・ 配付した資料2をご覧いただきたい。先ほど資料1の説明の中で包括的民間委託に関して簡単に説明したが、具体的な内容を申し上げると、包括的民間委託とは記載のとおり複数の業務や複数の施設にまたがる業務を包括的に民間業者に委託し、その委託した業者の創意工夫やノウハウを活用して、効率的、効果的に維持管理していくという手法だ。これは下水道分野では、国の指針などもあり導入が進んでいる一方、他のインフラ施設や公共施設においてはまだ導入が進んでいないのが現状だが、そうした中でも包括的民間委託を先進的に取り入れ、財政負担の軽減を図っている他都市の事例もある。千葉県我孫子市では、平成24年度より、各施設の設備ごとに個別で発注していた54施設の設備等の維持管理業務を包括的に委託する方法を取り入れている。約50本あった契約が一本化されたことによって、契約にかかる事務経費が削減されたほか、委託料の約10パーセントの削減に成功している。また、大阪府箕面市では、市内51公共施設の清掃や警備などの委託業務計126業務の委託契約を集約し、一括して総合評価入札を実施する方法を取っており、さらに126業務を事業者が自由に選択し入札することができる全国発の希望業務選択方式による入札方式を実施し、約22パーセントの経費削減が図られているようだ。以上が包括的民間委託の説明となるが、包括的民間委託にかかわって、他に確認しておきたい事項など、何か発言はあるか。(なし)
- ・ 今後の調査の進め方について相談だが、他都市の取り組みについて調査研究を行うことも確認しているので、正副としては公共施設等の管理にかかわる包括的民間委託の手法について他都市に行政視察を行ってはどうかと考えるがいかがか。(異議なし)
- ・ 視察先の選定にあたっては、下水道分野における包括的民間委託の導入が進んでいること、またインフラ施設において個別具体の調査にあたることは常任委員会の所管の問題もありますことから、今回は先ほど一例としてあげた千葉県我孫子市と大阪府箕面市に対し、公共施設の維持管理における包括的民間委託の手法について先進事例を調査したいと考えているが、いかがか。(異議なし)
- ・ なお、日程については、10月30日から11月1日までの3日間としたいと思うが、いかがか。(異議なし)
- ・ 調査票の内容については、ただいま整理した内容と、我孫子市および箕面市の取り組み等を勘案の上作成することとし、内容については正副に一任いただきたいと考えているがいかがか。(異議なし)

- ・ お諮りする。本件については、委員会の閉会中継続調査事件とすることでいいか。(異議なし)
  - ・ ただいま決定した閉会中継続調査事件については、先ほどの理由をもって議長に申し出たいと思うが、いかがか。(異議なし)
  - ・ その他、本件について各委員から何か発言あるか。(なし)
  - ・ 議題終結宣告
- 

## 2 その他

### ○委員長（遠山 俊一）

- ・ 次に、2のその他だが、私より話がある。前回の委員協議会において、市戸委員と板倉委員から提案があった件についてだが、まず、世界遺産登録に向けた取り組みにかかわっては、非常に残念な結果となったが、先日の分科会での答弁でもあったように、北海道・北東北の縄文遺跡群世界遺産登録推進本部では、先月22日に推進会議を開催し、今後の進め方を協議したところであり、より内容の充実した推薦書素案の作成のため、関係自治体の専門性を有する担当職員により推薦書作成プロジェクトチームを立ち上げ、来年3月の文化庁への素案提出に向け、集中的に検討を進めるとのことです。また、構成資産を有する自治体として、地元の関係団体等と連携を図りながら、本年11月には「縄文シティサミットinはこだて」を開催し、市民を対象とする講演会等を行い、広く周知を図るとのことです。4道県や関係自治体はもとより、地元の関係団体等とも一層の連携を深め、気運の醸成も含め全力で取り組んでまいりたいとのことだ。当委員会としては理事者側の今後の対応等も見守りながら、必要に応じて協議の上調査するか否か検討したいと考えているがいかがか。(異議なし)
- ・ 2点目だが、地域公共交通の再編に関わって、現在函館市生活交通協議会においてバス路線網再編の実施に向け、系統番号見直し等利便性の維持向上に向け、できることから着手すべく協議を行っていると同っている。こちらについても、生活交通協議会での協議が整い次第、再編実施計画案が当委員会にも示される予定なので、必要に応じて協議の上、調査するか否か検討したいと考えているがいかがか。(異議なし)
- ・ 私からは以上となるが、各委員から発言あるか。

### ○板倉 一幸委員

- ・ 急だが、先日の予算決算特別委員会の分科会でも話があり、また一般質問でも質問の予定があるようだが、北朝鮮が弾道ミサイルを発射し、あるいは核実験の強行策ということで、国会でも道議会でもすでに抗議する決議案を可決したりあるいは上程したりということになっているようだが、函館市議会としてもそうした意志を示すということで、総務常任委員会として発議をしてはいかがかと思っ

### ○委員長（遠山 俊一）

- ・ ただいま民主・市民ネットさんから決議案の提出についての提案があったので、趣旨説明をしていただき、委員会提出の決議案として協議したいと考えている。事務局に文案を配付させる。

(事務局 資料配付)

- ・ 民主・市民ネットさん、説明をお願いします。

### ○板倉 一幸委員

- ・ お手元に朝鮮民主主義人民共和国のミサイル発射および核実験に抗議する決議（案）ということで配付されたが、実は、8月29日にこの渡島半島上空を弾道ミサイルが通過をした。また、9月3日にはこの弾道ミサイルということで、水爆実験が行われたとこういうふうに言っているわけだが、国会でもその非難の決議案が採択をされた。道議会では全会派一致で定例会初日の、12日ですから今日提案されて可決をされるという方向で調製されているというふうに聞いている。文案は見ただけならばと思うが、時間の関係で道議会での決議案の発議の中心になったというか、下地になったのが自民党さんの作った案ということで、それを基に作らせてもらっているの、そういうことで理解をいただければと思うが、まず函館市議会としても強く抗議をすると、あるいは今後こういったことを二度とないようにしてほしいとこういうようなことの決議というふうにしたいと思っているので、ご理解いただければというふうに思う。

○委員長（遠山 俊一）

- ・ 説明が終わったので、本決議案について文案も含めて協議したいと思うが、発言あるか。

○市戸 ゆたか委員

- ・ 予算決算特別委員会でも二人の方がやはりこの北朝鮮のミサイルに抗議するというあたりで、冒頭そういう発言から始まったのも含め、私としても函館市議会として、この抗議を求める決議は大事なことだし今必要なことだなと思っているので、是非賛同したいというふうに思う。

○委員長（遠山 俊一）

- ・ 他にあるか。

○茂木 修委員

- ・ うちの会派もこの決議案については賛同する。先ほど板倉委員のほうから説明があったが、文案については恐らく数多く出されるだろうから、それぞれの議会で別々な内容というの、もどかなのかなと思、むしろ道議会の自民党さんの案をベースにして同じような趣旨の文案になっているということのほう、むしろいいのかなと思っている。一応、そういう考えで。

○斉藤 明男委員

- ・ 板倉委員の話の内容は良く理解できる。ただ、自民党の案をある程度参考にしたという発言もあったが、国連の安保理でも昨日ですか、今日制裁決議が採決されたようだし、函館市議会、地方自治体が果たして決議して国際情勢がどういうふうに変っていくのかなというのはよくわからない。国対国の問題でもあるし、中々自治体がどこまでじゃあ効力がこの決議が発揮できるのかというのはちょっと私も見当つかないので、態度を保留させていただきたいと思う。

○井田 範行委員

- ・ この内容については十分理解できる。ちょっとタイミングが遅いかなという感じもするが、ただうちの会派というよりも私個人的には今コメントは出せるが、会派としてということになると一応マルつく可能性は極めて高いと思うが、一回持ち帰らせていただいて、今日中に午後3時くらいまでには答えを出したいというふうに思う。

○委員長（遠山 俊一）

- ・ ただいま態度を保留された会派がある。後ほど改めて態度を確認させていただいて、全会一致をもって委員会提出という形にしたいと思うが、よろしいか。（異議なし）

- ・ ほかに各委員から何か発言あるか。(なし)
- ・ 散会宣告

午前10時30分散会